

湯の華だより



2025年5月 No.115

開山忌 道智上人墓前法要（記事は4ページ）



区

議 会

三月定例会

（3月14日、21日）

令和6年度豊岡市城崎町
湯島財産区特別会計補正
予算（第5号）

可決 本補正予算は、令和6年度の最終補正として、歳入の見込みによる整理、歳出では支出の見込みによる増額及び不用額の整理を行うものです。

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2056万9千円を追加し、予算の総額はそれぞれ5億6007万2千円となりました。

令和7年度豊岡市城崎町
湯島財産区特別会計予算

可決 令和7年度の当初予算は、令和6年度の実績及び決算見込みをもとに算定し、編成されています。投資的経費では、「御所の湯空調設備外更新工事」や「地藏湯及び柳湯のユニバーサルツーリズム対応工事」等が予定されています。予算総額は5億3215万1千円で前年度と比較し、4127万3千円の増

となっております。

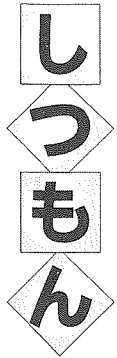
（4ページ参照）

予算委員会からの意見・要望

「中長期財政見通しに基づいた浴場整備等の投資計画をしっかりと予算に反映すること」、「投資的経費が今後増える予想の中で、入札情報の共有等の予算執行状況を議会と共有すること」で、適切な予算執行に努めていただきたい。

城崎町湯島財産区議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

昨年度実施した、議員報酬の額を規定額から2割減額するものを本年度も継続し、令和8年3月31日まで延長するものです。施行期日は令和7年4月1日としています。



3月の定例会では次のような一般質問を行いました。質問及び答弁の趣旨は区議会広報委員会でご覧いただけます。

外湯の改修計画について

問 垣谷議員

鴻の湯、地蔵湯と築30年を経過している外湯の大規模改修については、基本的には建物の長寿命化を目的とした改修改善ということを示されましたが、更に配湯タンク2基の更新についても湯湯機械室、配湯管理室も合わせての大規模な工事となることが想定されます。

令和5年4月からの料金改定、令和6年4月に外湯の優待入浴制度見直しを行い、また、さとの湯は長期休湯に入り、全6か所の外湯が稼働しています。社会情勢の変容とも言える光熱費、諸経費の増加もありますが、料金改定を軸にコロナ禍で傷んだ財政の安定回復を見込んだ中で、維持管理していく上での外湯改修設計についてどのようにお考

えですか。

答 関貫管理者

鴻の湯、地蔵湯の改修につきましては、コロナ禍においては着手できませんでしたが、契約入浴料が改定されたことや、入浴者数がコロナ前の9割程度まで回復してきたことによりまして、財政状況も改善してきたことから、2025年度から順次取り組んでいきたいと考えております。

まず、2025年度は、鴻の湯の施設や設備の老朽度調査とその調査結果を踏まえた改修計画を策定することとしております。

改修計画は施設の長寿命化を第一といたしますが、時代のニーズに沿い、多様な方が外湯を楽しむように、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れたリ、脱炭素と維持管理費の抑制のため、エネルギーの効率化が図れるものとなるよう、検討して参りたいと考えております。スケジュールといたしましては、議員の皆様と十分協議しながら、本年秋頃に改修計画を策定し、策定後速やかに実施設計に取り掛かり、2026年度に

改修工事に着手したいと考えております。

地蔵湯につきましても、2026年度に、点検調査及び改修計画策定を行い、議員の皆様と協議を重ねながら、改修を進めていきたいと考えております。

同様に他の4湯につきましても、財政状況を注視しつつ、築年数や老朽化の状況を見ながら、段階的に取り組み、施設の長寿命化を図るとともに、観光振興に寄与する外湯を目指し、利用者の安全確保を第一に、設備不良による休館等、トラブルのない安定した浴場運営を目指していきたいと思っております。

温泉配湯管の布設替え計画について

問 藤原議員

昨年、湯の里通りの電線地中化工事に伴う地下の事前調査が行われ、兵庫県社会基盤整備プログラム、無電柱化推進計画によりまして、2028年には事業完了予定とありますが、その際に同時に温泉配湯管も布設替えをされる計画があるのかお尋ねいたします。

答 関貫管理者

2019年の3月に改定されました、兵庫県の「社会基盤整備プログラム」は、現在、「ひょうごインフラ整備プログラム」と名称が変更されておりますが、そのプログラムの中では、主要地方道豊岡竹野線、通称「湯の里通り」における無電柱化事業は、2028年度完了となっておりませんが、現在、兵庫県の事業担当課からは、事業の完了は2030年の予定と伺っております。

議員ご指摘のとおり、2024年度に地下埋設物の事前調査が行われました。これを受けて、現在、温泉管の支障箇所の把握作業が行われており、来年度の早い段階で移設を求められる温泉管が示される予定となっております。

現在、兵庫県より伺っております具体的な無電柱化事業の概要は、一の湯から月見橋までの県道におきまして、①御所の湯と反対側の車線の道路掘削と電線管の本管を埋設、②御所の湯側の供用柱の新設、③本管から分岐して、供用柱に向け、県道を横断する枝線の埋設となつて

おります。

財産区の温泉管は、道路掘削が部分的にしか行われない御所の湯側に埋設されておりますので、無電柱化事業に影響する温泉管は、新設される供用柱の直下にある温泉管と県道を横断する枝線と交差する温泉管で、これらの部分的な箇所への移設が求められると想定をしております。

なお、無電柱化事業区間における温泉管は、2002年度の下水道事業の際に布設されたもので、比較的新しいものであります。

従いまして、現時点では、今回移設対象外となる温泉管については、布設替えの検討は行っておりませんが、今後、兵庫県から詳細な工事の方針や、水道、ガス等、他の事業者の移設計画などが示されてきますので、事業費の軽減につながる更新方策につきまして、検討をして参りたいと考えております。

一の湯、地蔵湯における家族湯について

問 井上議員

一の湯、地蔵湯における家族

湯の華だより

湯については、数年前より、その在り方について検討されていくところですが、温泉委員会でも再三、意見を交わしました。

設備については旧態依然としていて、改修もなされず、旅館施設で現在増加している貸切風呂と比較しても見劣りし、利用がほとんどない状態です。県条例の数々の利用条件があることで、利用しにくくなっています。

また、家族湯を使用することにより、現場浴場従事者の仕事量増大の問題があります。経費の問題もあり、家族湯の廃止を考へなくてはならない時に来ていると思います。管理者のお考えはいかがでしょうか。

答 読者管理

一 湯及び地蔵湯の家族湯につきましては、2020年4月に、コロナの感染拡大に伴い休止をしており、コロナ後も設備の老朽化や浴場従事者の負担が大ききことなど、様々な課題があり、現在まで休止をしており

ます。議会の皆様に現地を確認していただく中で、「再開には、設備の改修や運営方法の改善が必要であり、現状のままでの再開

は難しいだろう。」とのこと意見もいただいております。

今回のご指摘は、「休止の状態が長く続いている状況は、観光施設として適切ではないのではないか。」と受け止めております。

外湯の窓口でも、お客様から、「いつ再開するのか。」などの問い合わせをいただくこともあると聞いておりますので、今後の家族湯の取扱いについて検討しなければならぬことは認識をしております。

一方で、城崎温泉全体でユニバーサルツーリズムの取組みがスタートされた中で、介助入浴ができる家族湯の廃止につきま

しては、慎重に検討しなければならぬとも考えております。再開にあたっては、財政的、運営的に大きな課題があります。2026年度に地蔵湯の改修計画を策定する予定でありますので、その際に、議員の皆様とよく相談させていただきながら、家族湯のあり方について検討して参りたいと思っております。

委員会のつぎ

総務財産 常任委員会

今後見込まれる外湯の修繕や機械の入れ替え、長寿命化への取り組み等について説明を受け、中長期の財政の見通しについて協議をしました。

また・休止届提出後の契約入浴券の使用について・事業承継について・源泉の特例について・設置管理条例施行規則について協議しました。

温泉 常任委員会

城崎温泉旅館協同組合からの要望について

城崎温泉観光協会との共通チケットとして利用可能な月締め等での精算による外湯入浴チケット作成の要望があり、湯島財産区との契約締結の上で実施することは可能であると回答している旨の報告を受けました。

外湯周辺の雪かきについて

業者との調整が必要であると

の報告を受け、早期の対応を要望しました。

今後の工事の予定について

外湯、配湯ポンプ等の工事予定についての報告を受け、意見を交換しました。長期財政見通しを作成し、持続可能な運営を行うよう要望しました。

外湯の掲示物について

一の湯をモデルケースとすべく現地視察を行い、状況を確認した上で整理と改善を要望しました。

柳湯浴槽手すり増設について

現場を視察した上で協議を行い、浴槽の大きさや形状、ジェットバスの排出口との位置関係を検討した上で、検討することとしました。

外湯全般について

フロントや脱衣所、浴場での備品および設備の管理、地蔵湯2階休憩所の使用、外湯前の除雪体制、浴場従事者の接客対応等について協議しました。

予算 常任委員会

令和7年度豊岡市城崎町湯島財産区特別会計予算について、審査しました。当局より予算案についての詳細説明があり、その後各委員より当局に対して質問を行いました。項目ごとに慎重な審査を行った結果、全会一致にて原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

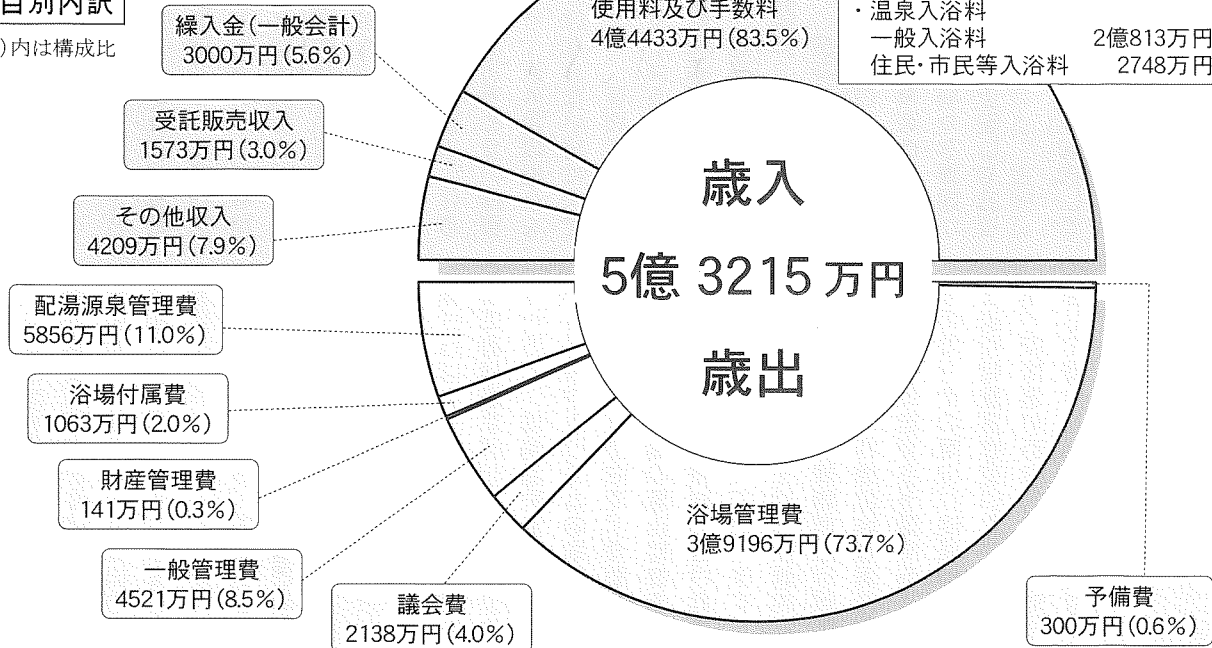
区議会のつぎ

《2月》	20日	温泉常任委員会
《3月》	10日	議長・副議長・委員長 会議
10日		総務財産常任委員会
14日		第1回城崎町湯島財産 区議会定例会(1日目)
17日		予算常任委員会
17日		議員全員協議会
21日		第1回城崎町湯島財産 区議会定例会(2日目)
《4月》	15日	第241回城崎町湯島 財産区養老会
15日		道智上人墓参(温泉寺)
28日		温泉常任委員会
28日		広報委員会

令和7年度 当初予算状況

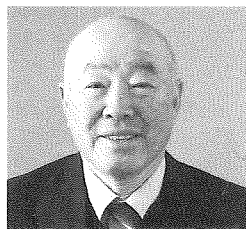
項目別内訳

()内は構成比



駒井 博行④

総務財産常任委員長
予算常任副委員長



井上 哲郎⑩

温泉常任委員
予算常任委員



副議長
大将 伸介④

総務財産常任委員
予算常任委員長
広報委員長



議長
澤田 浩二郎⑤

総務財産常任委員
広報委員



西村 総一郎②

総務財産常任委員長
予算常任委員
広報委員



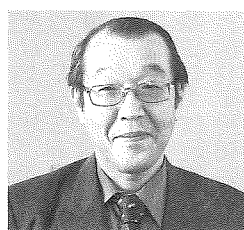
垣谷 託司③

温泉常任委員
予算常任委員



宮下 隆司③

総務財産常任委員
予算常任委員



藤原 将之④

総務財産常任副委員長
予算常任委員
広報委員

令和7年3月14日開会の定例会で議長、副議長、各委員会構成が決まりました。(氏名の横の囲み文字は期数)

城崎町湯島財産区議会役員構成

城崎温泉に春を告げる「温泉まつり」

城崎温泉の開祖といわれる道智上人の開山忌にあわせて4月23日と24日に、温泉まつりが行われました。

23日は四所神社の古典行列と各外湯ご祈祷、24日は温泉寺による各外湯ご祈祷と、道智上人供養の法要が行われました。外湯では、今年も地蔵湯、まんだら湯、柳湯の三湯を無料開放しました。(事務局)



井垣 真紀①

温泉常任委員
予算常任委員



田岡 聖司②

温泉常任副委員長
予算常任委員
広報委員



久保田 一三②

温泉常任委員長
予算常任委員
広報委員